

プロジェクト名：エチオピア国 REDD+及び付加価値型森林コーヒー生産・販売を通じた持続的な森林管理支援プロジェクト

(調査期間：2016年11月～2020年11月、担当業務：副総括/生計向上/村落活動支援)

業務背景

エチオピア国で貴重な森林生態系を有する南西部地域に位置し、天然林が毎年減少しているジンマ県ベレテ・ゲラ森林優先地域において2003年よりJICA技術協力プロジェクトが実施され、参加型森林管理を推進し、地域住民が森林保全からインセンティブを得られるような生計向上手段として、森林コーヒー認証プログラムが導入された。しかし、森林コーヒーが生育しない高地エリアにおける森林減少が続いていることが確認され、森林コーヒー以外の森林伐採の代替となる生計向上手段を支援し、森林減少を抑制する継続的な体制構築が必要とされた。

業務概要

高地エリアでの森林資源利用への負荷を減少させるため、農業を主生計とする森林利用者に対して、代替生計向上活動を導入した。計2,549世帯が技術研修やデモンストレーション活動に参加し、森林保全と収入増加の両立を図った。また、森林管理組合の再活性に向けた取組みに加えて、森林コーヒーとしての新たなマーケットの開拓に向けたイベント開催・出展等の支援も行った。

担当事項

- 高地エリアにおける適切な生計向上活動（改良養蜂、アボカド栽培等）の特定
- 技術研修やデモンストレーションなど生計向上活動の導入・普及の支援
- 生計向上に向けた活動・支援の進捗モニタリング・評価
- 森林管理グループ（WaBuB）の再活性に向けた管理契約の再締結を支援
- 森林コーヒー認証プログラム実施における仕組み・体制のレビュー・改訂



改良型養蜂箱製作の研修



アボカドの植栽活動



堆肥作りのデモンストレーション



東京での展示会（SCAT2019）への出展